

防災業務アプリケーションユニット標準仕様
被災者台帳管理
【機能一覧】

V1.1

平成 31 年 3 月



一般財団法人全国地域情報化推進協会

目 次

本書の位置づけ	1
機能一覧 被災者台帳管理	2

本書の位置づけ

本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様 被災者台帳管理【機能一覧】」は、業務ユニットに含まれる機能を定義し、その機能の内容を説明したものである。

機能は階層構造で定義されており、最下位の機能レベルは、一般的な機能の単位としての機能を、上位の機能レベルは、下位レベルの機能をグループ化したものである。

業務ユニットを実装するにあたっては、本機能一覧と階層構造は異なってもよいが、少なくとも最下位レベルで定義された機能を持つことが必要である。

<<準拠ルール>>

： 業務ユニットは、本機能一覧で定義される、最下位レベルの各機能を持つこと。

なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なってもよい。（必須）

機能一覧	業務名
	AB12. 被災者台帳管理

機能（レベル01）	機能（レベル02）	機能説明
AB12. 1. 登録	AB12. 1. 1. 被災者登録	当該災害に対し被災者となった住民の情報を登録する。
AB12. 2. 変更	AB12. 2. 1. 登録情報の変更	新たに把握した変更情報に基づき登録された情報の更新を行う。
AB12. 3. 照会	AB12. 3. 1. 照会	開示請求のあった情報を開示する。